

市町村長特別セミナー～地域防災力の強化に向けて～

平成29年度市町村長特別セミナー～地域防災力の強化に向けて～を、11月27日、28日の2日間の日程で開催しました。このセミナーはもともと、8月8日、9日に開催予定でしたが、台風5号の影響により延期し、この時期に実施したものです。実施時期を変更したにもかかわらず、8月と同じ顔ぶれの講師をお招きでき、全国各地から28名の市町村長・副市町村長の皆様にご参加いただきました。今回のセミナーでは、地域の防災力強化に向けた、総合的かつ戦略的な取組の推進に向け、「災害予防」から「復興」までの一連の過程における、喫緊の課題を取り上げ、最新の知見や対策についてご講演をいただきました。

初日は、東日本大震災復興構想会議議長、くまもと復旧・復興有識者会議座長をお務めになられるなど、災害からの復興に大変ご尽力されている公立大学法人熊本県立大学理事長の五百旗頭真氏から、「復旧から創造的復興へ」と題してご講演いただきました。地球誕生という長い歴史からの日本の災害上の宿命や、阪神・淡路大震災時の生々しいお話などをしていただきました。参加者からは、「日本列島は運命共同体であることを再認識させられ、災害を常に意識することを学んだ」「災害の発生とその対応について、より広い視野で考えられるようになった」「過去の歴史からひも解き、創造的復興の重要性が分かった」などの感想をいただきました。

次に、「熊本地震で出来たこと、出来なかったこと」と題して、熊本県副知事の田嶋徹氏から、平成28年4月に発生した熊本地震について、発災後、概ね3か月間の対応に関する検証結果や、震災からの創造的な復興への取り組みなどについてお話いただきました。参加者からは、「実体験に基づくものであり、特に検証の必要性は参考にすべきと感じた」「後世に伝えることの責務について重く受け止めた」「地震を予想しての訓練、警察・自衛隊との連携により、人命の被害を最小限に食い止めたことは素晴らしいと感じた」などの感想をいただきました。

また、1日目の締めくくりとして、小山有紀氏、岡地岳氏のおふたりのマリニストによる「ミニコンサート」が催されました。マリニストの特徴や自身の被災体験などのエピソードなども交え、息の合った素晴らしい演奏を披露していただきました。参加者からは、「素晴らしい音色とリズムに心がなごみ、楽しいコンサートだった」などの感想をいただきました。

2日目は、「災害対応力の強化」と題して、国立研究開発法人防災科学技術研究所理事長の林春男氏からご講演をいただきました。阪神・淡路大震災以降の20年間で巨大災害が繰り返し発生しているにもかかわらず、被害抑止力が不十分であることを踏まえ、今後の防災・減災のあり方についてお話いただきました。参加者からは、「中身の濃い重要な課題を解り易く教えていただいた」「災害対応の抽象思考整理と具体事例の両方があって勉強になった」「防災計画を再見直しする際の参考にしたい」などの感想をいただきました。

最後に、「過去の災害が語る、未来への教訓」と題して、地震観測学の第一人者である東京大学地震研究所地震予知研究センター長・教授の平田直先生からご講演をいただきました。毎年1～2回程度発生しているマグニチュード7程度の地震や、マグニチュード8を超える超巨大地震の発生確率や被害想定等についての説明の後、被害を軽減するための方策についてお話いただきました。参加者からは、「帰庁したら、紹介のあったJ-SHIS（地震ハザードステーション）を検索し、そこから得られる情報をどう生かしていくか考えたい」「最新の地震学会の知見と、政策のあり方について考える素材を提供してもらえて有意義だった」「首都直下の想定において被害想定を具体的に示していただいたことから、このことから得られる対策、求められる体制の確立が重要であり、また耐震化の必要性も認識した」などの感想をいただきました。

復旧から 創造的復興へ

公立大学法人熊本県立大学理事長
五百旗頭 真氏



ミニコンサート

マリニスト
小山 有紀氏
岡地 岳氏



災害対応力の強化

国立研究開発法人
防災科学技術研究所理事長
林 春男氏



熊本地震で 出来たこと、 出来なかったこと

熊本県副知事
田嶋 徹氏



過去の災害が語る、 未来への教訓

東京大学地震研究所
地震予知研究センター長・教授
平田 直先生



市町村長・管理職特別セミナー～自治体経営の課題～・地域経営塾

平成29年度第2回「市町村長・管理職特別セミナー～自治体経営の課題～・地域経営塾」を、総務省との共催により、1月10日、11日の2日間の日程で開催し、全国各地から97名の市町村長、副市町村長及び管理職の皆様にご参加いただきました。

今回のセミナーでは、市町村が直面する自治体経営の課題として、「地域活性化」の分野でご活躍されている講師の皆様にご講演いただきました。

初日は、「人口減少社会を希望に」と題して、京都大学こころの未来研究センター教授の広井良典先生から、人口減少社会への移行は、各々の地域に根差した真の豊かさを実感していく大きな入口でありチャンスであると、深い洞察に基づいたお話をいただきました。参加者からは、「住民の幸せは何か、何を基準とすべきか、今一度考える必要があると思った。」などの感想をいただきました。

次に、「地域の持続性とは～自立と持続可能な地域経営のあり方～」と題して、JTIC.SWISS代表の山田桂一郎氏から、地域経営のあり方は住民の幸せと地域の豊かさを目的にすべきであり、地域内で経済を循環させる仕組みづくりが必要とのお話をいただきました。参加者からは、「地域振興の具体的な方向性についてアイデアを頂けた。」などの感想をいただきました。

また、1日目の締めくくりとして、「ミニコンサート」が催されました。フルート奏者の荒川洋氏、ヴァイオリン奏者の渡辺美穂氏、ヴィオラ奏者の村松龍氏、チェロ奏者の弘田徹氏

の4名による4重奏で、クラシック曲だけでなく民謡をアレンジした曲も披露されました。参加者からは、「心が和んだ。」「感動した。」「リフレッシュできる一時だった。」などの感想をいただきました。

2日目は、「平成30年度地方財政対策と地方創生関連施策の動向」と題して、総務省地域力創造審議官で前総務省大臣官房審議官（財政制度・財務担当）の池田憲治氏から、平成30年度の地方財政対策や地方創生関連施策の動向などについてご講演いただきました。参加者からは、「次年度の地方財政対策について、今後の方向性と課題を分かりやすく講義いただき良かった。地方創生を進める上で活用できる関連施策の紹介をいただいたので早速検討したい。」などの感想をいただきました。

次に、「地方への企業立地の動向と今後の展望」と題して、株式会社帝国データバンク産業調査部長の後藤健夫氏から、豊富なデータをお示しいたしながら、企業を取り巻く状況、世の中の動き、データでみる地域経済についてお話をいただきました。参加者からは、「人口減少からの人材不足が経済環境に大きく影響することを再認識できた。」などの感想をいただきました。

セミナー全体については、「次年度の施政方針や今後のビジョン、戦略を考えるうえでとても役立っている。講義内容を今後の行政運営に生かせるものであったと思う。」などの感想が寄せられました。

人口減少社会を希望に



京都大学
こころの未来研究センター教授
広井 良典先生

ミニコンサート

フルート	荒川 洋氏	ヴィオラ	村松 龍氏
ヴァイオリン	渡辺 美穂氏	チェロ	弘田 徹氏



平成30年度 地方財政対策と地方 創生関連施策の動向



総務省地域力創造審議官
前総務省大臣官房審議官
(財政制度・財務担当)
池田 憲治氏

地域の持続性とは ～自立と持続可能な 地域経営のあり方～



JTIC.SWISS代表
山田 桂一郎氏

地方への企業立地 の動向と今後の展望



株式会社帝国データバンク
産業調査部長
後藤 健夫氏

市町村議会議員特別セミナー～地域における政策課題～

平成29年度第2回「市町村議会議員特別セミナー～地域における政策課題～」を、1月15日、16日の2日間の日程で開催したところ、全国各地から129人の議員の皆様にご参加いただきました。

今回のセミナーでは、AI、環境問題、憲法等をテーマに取り上げ、それぞれの分野の第一線において御活躍されている講師の皆様にご講演いただきました。

初日は、「人工知能AIの現状とこれから」と題して、国立情報学研究所教授、(一社)人工知能学会会長の山田誠二先生から、そもそも人工知能AIとは何か、AIを取り巻く状況、AIで変わる社会、人とAIとの望ましい関係等について、最先端の事項についてのお話を伺うことができました。

参加者からは、「AI化が進んでもAIと人間との協働が必要という結論に納得するものがあつた。」「AIの得意な部分をどんどん活用していくことが人間の幸せにとって大事であると感じた。」「AIと人間の特性、違いについてよく理解できた。相互理解の重要性を認識した。」等の感想を頂きました。

次に、「地域活動と議員の役割」と題して、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長、(一社)地域経営推進センター代表理事の中村健先生から、同研究所が行った議会改革度調査の結果、全国の議会の動向、議会活動の課題等について、時々参加者への質問等も交えながら、分かりやすく説明していただきました。

参加者からは、「普段意識もせずに過ごしていることを改めて問われるとときに答えが出てこないことについて、今一度原点に帰り、調べ直し、意識していくことの必要性を痛感した。」「議員・議会の役割と責任を改めて気付かされた。」「議会活動が地域にどのような変化を起こせるかという視点が大事であることを学んだ。」等の感想を頂きました。

2日目は、「複雑化・多様化する環境問題への取組」と題して、放送大学理事・副学長、広島大学名誉教授の岡田光正先生から、我が国における環境問題、複雑化・多様化する環境問題の解決のための考え方、目標及び方法、地球規模の環境問題への対策等について、様々な科学的知見等を伺うことができました。

参加者からは、「行き過ぎは他に影響を与えてしまうので適度なバランスという話は面白かった。」「環境問題は、いろいろな角度から考えなくてはならないこと、科学技術の進化によって変わることが分かった。」「何事も100パーセントを求めることの無理を理解した。」等の感想を頂きました。

最後に、「地方自治の本旨と地方議会制度の在り方」と題して、首都大学東京大学院社会科学研究所法政治学専攻教授の木村草太先生から、そもそも地方自治とは何か、日本国憲法第8章(地方自治)の条文に係る経緯、当該条文の趣旨、地方議会の意義等について、具体例も交えながら、憲法学の視点から論理的なお話を展開されました。

参加者からは、「憲法が身近なものとして考えられた。」「中央政府に対する地方政府における議会の役割の大切さを考えさせられた。」「感情的になりがちな問題を理路整然と述べられ、考えさせられた。」等の感想を頂きました。

いずれの講演も、市町村職員中央研修所にふさわしい高度な内容であり、セミナー全体としては、「初めて参加したが、これを積み重ねて、議員としての質の向上を目指すべきであると感じた。」「全国の議員の皆様と情報・意見交換や交流ができることは大変有意義である。」「意義深い研修になった。今後の議会活動に生かしていきたい。」等の感想を頂きました。

人工知能AIの現状とこれから

国立情報学研究所教授、(一社)人工知能学会会長
山田 誠二先生



地域活動と議員の役割

早稲田大学マニフェスト研究所事務局長、
(一社)地域経営推進センター代表理事
中村 健先生



複雑化・多様化する環境問題への取組

放送大学理事・副学長、広島大学名誉教授
岡田 光正先生



地方自治の本旨と地方議会制度の在り方

首都大学東京大学院社会科学研究所法政治学専攻教授
木村 草太先生

